

緑丘中学校

## 学校だより

令和6年度 12月号

〒927-1213

珠洲市野々江町6の部1番地

Tel 82-0250 Fax 82-3199



## 「それぞれの思いのこもった居場所」

校長 小畠 康志

師走を迎える今年もあとひと月となり、改めて月日の経つ速さを感じております。学校では中庭の樹々に雪吊りが設置され、冬の準備が進んできました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、冬タイヤへの交換など雪への備えや、今年中に処理やまとめが必要とされることへの対応にお忙しいことと推察いたします。

10月26日（土）に、緑丘中学校文化祭が行われました。今年は、体育館の半分が避難所となっていたため、保護者の皆様にはご参観いただき学年の制限を設けさせていただきました。全学年の保護者の皆様にご参観いただけなかったことに、お詫び申し上げますとともに、ご理解いただきましたことに心より感謝申し上げます。

さて、今年の文化祭スローガンは「染 take 必笑（せんてひっしょ）～雨にも負けず、地震にも負けず～」でした。文化祭の準備や当日の活動を通して、学校全体を笑顔に染めていくという意思が感じられるテーマです。短い準備期間ではありましたが、主体的に協力し合い、これまでの学習の成果を分かりやすく表現するために、クラスや仲間と一丸となって創り上げていく姿がありました。真剣な表情や眼差し、笑顔で協力し合う姿、達成感にあふれた表情に、心が幸せになりました。また、大きな行事に限らず、どんな活動でも、楽しんだり、ぶつかり合ったり、苦労したりしながらも、最後には満足感のあふれる笑顔をみせてくれる姿には、何事にも代え難い「ありがたさ」を感じさせてくれる生徒達です。

居場所

いつも道 当たり前が美しいと知った 変わった日々と変わらない空 ふとした偶然で 交わった人がいる 支えてくれたのは きみの言葉	辛い時こそ 支え合って 離れていても 忘れないで 明日へ繋ぐ 乗り越えていく 力になるよ ここに居場所がある	いつもの空 改めて知った人の優しさ 新たに生まれる命 かけがえのない思い出 生きてきた人生 支えてくれたのはあなたの言葉	辛い時こそ 語り合って 離れていても 道は遠くとも 未来へ繋ぐ 乗り越えていく 力になるよ いつも居場所がある	辛い時こそ 支え合って 離れていても 忘れないで 明日へ繋ぐ 乗り越えていく 力になるよ ここに居場所がある
--	---	---	--	---

昨年度、医王山に集団避難していた時に、生徒と音楽科の中谷先生とでつくった「居場所」という曲の歌詞です。文化祭の合唱で各学年発表と全校合唱で歌われました。生徒はもちろん、大人もそれぞれに感じ取ることができる歌詞で、メロディーも素敵です。1月の発災から現在まで、生徒、保護者の皆様、地域の皆様、教職員の一人ひとりが踏ん張って日常を取り戻そうと頑張ってきました。そんな自分に重ね合わせができる曲です。これからも生徒にとって、学校が「楽しく、安心できる居場所」であるよう、教職員一同頑張っていきたいと思いますので、今後ともお力添えをいただきますようお願ひいたします。

## ◇ 文化祭

10月26日（土）に緑丘中学校文化祭を開催しました。学校の体育館半面での開催ということもあり、参観できる保護者様の数に制限がかかり、大変ご不便をおかけいたしました。

～ 生徒の感想より～

- ・文化祭を終えて、わからないことがあったときは周りの人に相談できるような学年になれたと思いました。
- ・今回の文化祭は、歴代の中で一番盛り上がった文化祭になったと思います。これからは受験に向けて頑張ります。
- ・全部が最高の文化祭になって、思い出になりました。これからは、このまま課題の提出率を100%にしたいです。
- ・中学校最後の文化祭でいろいろなことに挑戦しました。この経験を生かして何ごとにも挑戦しようと思いました。
- ・全員で練習して作り上げてきた劇が成功して良かったです。これを生かして学年の団結力を高めていきたいです。
- ・卒業式の合唱も最高なものにできるように、より団結していきたいです。
- ・緊張したけど、達成感がすごくて歌っていて楽しかったです。
- ・オンステージでは、学年の壁を越え、一致団結できてとても楽しかったです。
- ・今年は演劇だったので、毎日のように練習して、セリフを覚えて、動きをつけて工夫しました。



## ◇ 東京佼成ウィンドオーケストラ巡回公演（舞台芸術等総合支援事業）

いしかわ教育ウィーク期間の11月5日（火）に文化庁が企画している舞台芸術等総合支援事業として、東京佼成ウィンドオーケストラの巡回公演が行われました。指揮者の堀様をはじめ、奏者47名のフルオーケストラでお越しいただき、10月に実施したワークショップで練習した共演曲「居場所」および「ブラジル」を含む10曲の演奏を聴かせていただきました。最後に生徒代表として谷内口 心春さんが感謝のあいさつを行うとそれに応える形で校歌を演奏していただきました。「居場所」と「校歌」を日本一の吹奏楽団の生演奏で合唱することができます。

とても貴重な体験をさせていただけたと思います。公演が終わった後、指揮者の堀様から、合唱だけなく、生徒達の聴く態度、参加する姿勢がとても良かったとお褒めの言葉もいただきました。東京佼成ウィンドオーケストラの皆様、本当にありがとうございました。



## ◇進路説明会

11月7日（木）に例年、いしかわ教育ウィーク期間中に実施している3年生と保護者を対象とした進路説明会が行われました。今年度は能登高等学校、飯田高等学校に来ていただき、それぞれの高校の特色についてお話ししていただいたあと、今後の進路日程について中学校から説明を行いました。大きな行事が終わり、3年生にとっては学習に追い込みをかける大事な時期になってきました。自分の進路を決定して目標に向かって頑張ってほしいと思います。将来をしっかりと見据えて、自分に合った進路選択をしていきましょう。



## ◇ウィーンフィルハーモニー管弦楽団公演

11月18日（火）にラポルトすずでウィーンフィルハーモニー管弦楽団による復興支援公演が行われました。市内の中学生と飯田高校生が招待されました。世界的に有名なオーケストラから7名の奏者にお越しいただいて、トップクラスの素晴らしい演奏を聴かせていただきました。飯田高校の校長先生のお話では、一生に一度聞くことができるかどうかの貴重な体験とのことでした。先日の東京佼成ウィンドオーケストラに引き続き、まさしく芸術の秋という体験ができました。



## ◇株洲市英語スピーチコンテスト

11月22日（金）に市内の中学校から代表者が集まり、緑丘中学校で株洲市スピーチコンテストが行われました。本校からは、8名の生徒が出場し、全校生徒の前で堂々とスピーチを披露することができました。

【代表】  
 1年 今井 瑛次 前根 佑斗  
 泉 淳太 初鳥 凪音  
 2年 石尾 太暉 上田 朱夏  
 3年 宮下 愛子 吉田 紗生



## コラム

12月に入り、お正月が近くなってきました。この時にお話しておきたいのがこのタイトルにも書きました「アニバーサリー反応」です。何の事かと云うと、今年のお正月に能登半島を襲った地震、直後の津波などを思い出すと云う事です。今回は特に平日に発生したのではなく、皆さんが歳神様とのんびりと新しい年をお祝いしておられた、まさにその時に発生したのだからなおさら印象が強いものとなっていく事でしょう。どういう反応かと云いますと、動悸・息切れ・頭痛・胃腸の不全（胃痛・腹痛・消化不良・食欲減退など）・不眠・感情の平板化と極端化（喜怒哀楽が鈍くなったり、逆にちょっとした事で爆笑したり激怒したり）フラッシュバック（当時の状況が映像となって思い出される・夢に出る場合もある）が出たりなどです。

これは極めて当然の反応で、これが出ると云う事は皆さんが正常な人たちだと云う事の証明でもあります。これらを出すことによって心はもっと強く立ち直ろうとしている訳です。東日本大震災の後で子どもたちの間で「津波ごっこ」が流行ったりしましたが、これも子どもたちが地震と津波を自分たちが「遊びと云う操作可能な形にしてしまう」事で立ち直ろうとしているのです。また、心的外傷（トラウマ）として地震・津波を繰り返し思い出す事=思い出としての地震や津波は皆さんに危機をもたらすわけではありません。もっと云えばご自身の立ち直りを早める働きもあるのです。これらの反応が出る事は悪い事ではなく、逆に恐怖心や警戒心はそれだけ危機からの生存を高める働きがある事は広く認められています。

今度のお正月にこれらのアニバーサリー反応がある事があるでしょう。その時はご自分があの出来事（地震や津波）を乗り越えようとしているのだ、とお考え下さい。先ずそのまま、そのご自分をお認め下さい。お辛いとは思いますが、それでも前に進もうとしているからこそ、このような反応が出るのです。お辛くて堪らない場合は、学校のスクールカウンセラーにご相談いただくか、最寄りの医療機関を受診なさってください。そのようなご自身を受け止めた上でどうぞ、これは悪い事ではなく正常な反応であると云う事と、これが却って危機からの生存を高める働きがある事をご理解ください。その上でより良い新年をお迎えくださいますようお祈り致します。

中谷智一スクールカウンセラーより

## 石川ミリオンスターズの指導を受けました！

11月13日（水）に「県内トップスポーツチームと連携したスポーツ教室」でミリオンスターズの山市暖乃心選手に来ていただき、緑丘中野球部がバッティングや変化球の投げ方などの指導を受けました。山市選手は輪島市出身で昨年度まで輪島高校野球部にいた入団1年目のフレッシュな選手です。生徒たちは、同じ奥能登出身ということや年齢が近いこともあり、真剣に話を聞いていました。習ったことをこれから練習に活かしてほしいです。また、山市選手の今後の活躍に期待しています。



### ☆運動部の結果☆

○能登ジュニア陸上競技選手権大会 **最優秀選手賞**:小町 一嘉  
・四種競技 第3位 小町 一嘉 ・砲丸投げ 第1位 石尾 太暉

### ☆応募作品の結果☆

○石川県読書感想文コンクール

・**県知事賞(最優秀賞)**:梶 凪沙

○石川県児童生徒科学作品コンクール

・**優良賞**:上田 朱夏 小町 一嘉

○石川県中学生人権作文コンテスト

・**優秀賞**:岡田 法華 ・**入選**:米谷 友良

○税についての作品展

(書道の部)

・**輪島税務署長**:宮田 陽菜 **会長賞**:川坂 南葵 **銀賞**:田端 真衣

(作文の部)

・**会長賞**:岡田 朋大 **銀賞**:室谷 元樹

(ポスターの部)

・**県知事賞**:蓮池 里奈 **銅賞**:権元 琉奈 薮下 愛未 前 鳩乃佳

○JA共済コンクール

(ポスターの部) (書道の部)

・**金賞**:梶 凪沙 **銅賞**:角井秀汰朗 **・局長賞**:宮田 陽菜

○JAバンク石川「くらしの絵」コンクール

・**金賞**:小高井 希乃香

○おじいちゃんおばあちゃんの似顔絵コンクール

・**銀賞**:小高井 希乃香

○親子の架け橋一筆啓上「親子の手紙」

・**佳作**:今井 瑛次 岡田 朋大

○珠洲市児童生徒理科研究作品展

・**入選**:角居 夏実 中村 友就 西 琥太郎 八百市兼生

今井 瑛次 和嶋 桃子 油谷 友希 石尾 太暉

大野 長晟 米谷 友良 田保 彰大 寺田 昂太

岡田 朋大 宮田 陽菜 上田 朱夏 小町 一嘉

○珠洲市児童生徒絵画作品交流会

・**優秀賞**:宮田 陽菜 新屋 向日葵 新屋 綾芽

・**優良賞**:谷内 茉子 西 琥太郎 岡田 法華 西 ことの

○金沢大学環日本海域環境研究センター絵画コンクール「海と人と生き物と」

・**環日賞**:中堂 結 **・最優秀賞**:向 美帆

・**優秀賞**:小高井希乃香 西田 真優

## 12月の行事予定



日	曜	行 事
1	日	
2	月	振替休日
3	火	登校指導 県評価問題(2年生)国数理 3年生保育所訪問(2・3限)32H
4	水	3年生保育所訪問(2・3限)31H
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	職員会議
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	第2回珠洲の未来を考えるワークショップ
17	火	
18	水	
19	木	3年生三者面談
20	金	3年生三者面談 珠洲市スペリングコンテスト
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	終業式
25	水	通知表懇談(1・2年生)
26	木	
27	金	
28	土	
29	休	学校閉庁日
30	休	学校閉庁日
31	休	学校閉庁日



